

メディアも注目 ストップ・ザ・腎不全

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

【朝日新聞】4/22 【山陽新聞】4/7 【神戸新聞】3/21

腎臓を守る降圧療法
新薬投薬で長期的な機能低下抑制

腎臓は、血中の老廃物をろ過して排出する働きを担っている。しかし、高血圧や糖尿病などの疾患により、腎臓の機能が徐々に低下し、最終的には腎不全に至ることがある。このため、腎臓を守るための降圧療法が注目されている。最新の研究では、特定の降圧薬を使用することで、腎臓の機能低下を抑制できることが示されている。

慢性腎臓病 (CKD) プレスセミナー

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

【日刊工業】4/6 【Japan Medicine】4/6

**CKD治療で日本医科大・飯野靖彦教授
プライマリケア医と専門医の連携で**

慢性腎臓病(CKD)の治療において、プライマリケア医と専門医の連携が重要であると、日本医科大学の飯野靖彦教授が講演した。飯野教授は、CKDの診断と治療において、かかりつけ医と腎臓病専門医が協力して患者のケアを行うことが大切であると述べた。

CKD患者の予後と生活の質改善のための行動計画

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

- **社会、患者、保険者に対する行動計画**
 - A) 一般市民、患者、CKD対策に大きく影響を及ぼす分野の人たち、例えば経済学者や人口統計学者、さらには支払い関(保険者)など、代表的な団体等を対象に教育啓発キャンペーンを行う
 - B) CKDを含めた腎以外の臓器障害とCKDの関係を社会に広くアピールする
 - C) スクリーニング検査や慢性腎疾患が疑われる患者を評価するための単純明快な指針(診療ガイド)を作成して公表し、啓発活動をする
- **医療者(CKD医療を行う意思、コメディカル)に対する行動計画**
 - A) 多様な原因や進行段階にあるCKDの総合的マネジメントシステムの有効性に関する研究を行う
 - B) 腎機能の評価を標準化をめざして、GFR換算式などCKDの評価方法に関する統一的手法を検査/健診機関や関連学会、団体などと共同して開発する
 - C) CKD患者を対象にCKDとESRD/CVDの関連について、観察研究及び介入研究を行い、自然歴や治療効果について継続的にデータを収集する
 - D) 必要の研究課題を達成するために、腎臓の枠を超えた学際的な組織を構築する
 - E) CKD克服のために活動しているすべてのグループや団体を結集し、組織する
 - F) 腎機能検査(特に推算GFR)の普及を進めると、検査室、医療提供者、社会に広くCKDの統一した定義を要請し入れてもらうための企画を立て実行する
- **行政、政府に対する行動計画**
 - A) 厚労省の健康政策の中に統合腎不全対策を中心に設定するよう働きかけるとともに、地域単位でも健診などの施策にCKD対策を組み込ませる

CKDの進行過程と対策

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

日本人の総人口(1億人20才以上)から、CKDハイリスク群(糖尿病、高血圧、メタボリック症候群、家族歴のある人、など)が約1,000万人に達する。このうち、CKD 1, 2 (腎機能正常〜軽度低下)は約380万人、CKD 3 (腎機能中程度低下)は約160万人、CKD 4 (腎機能高度低下)は約16万人、CKD 5 (末期腎不全)は約4万人に達する。CKD 5患者は透析(約26万人)や移植(約4,000人)を受ける。対策として、生活習慣改善・治療、合併症治療、腎不全教育・進行予防のための治療、透析導入準備、腎臓病の早期発見、腎臓病を軽減させる治療、腎臓病進行の危険因子軽減などが示されている。

システムとしてのCKD対策 のあり方：到達点と課題

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

疫学調査研究
日本人向けGFR簡易推算式の作成と普及
実態調査の継続
前向き・後ろ向き疫学調査研究
リスク要因の分析
費用対効果分析
CKD対策のゴールの設定
公表/社会へ発信

診療システム構築
CKD診療ガイドラインの作成
関連機関団体への働きかけ(学会、医師会、コメディカル、患者、医療関連企業、等)
診療システム構築
地域連携パス

社会への働きかけ
CKDキャンペーン/啓発活動
CKD対策のOH/Q(日本慢性腎臓病対策協議会)の確立
データへの広報
他団体、学会との共同作業
行政への働きかけ
社会への働きかけ
CKD対策の政策化

国際協調/貢献
人種別(特にアジア人)の腎機能評価法の共同開発を含む、アジアCKDの推進
世界とアジアにおけるCKD対策運動との協調
国際的期にアジア地域におけるCKD対策・戦略の確立

□ 取り組み中
□ 取り組み済
□ 今後の課題

CKDの地域医療連携の課題

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

1. 日本CKD対策協議会の基盤強化
2. 腎臓専門医とかかりつけ医との連携体制の構築と診療ツールの開発
3. 実態に即した地域連携パスの作成
4. 腎臓専門医の育成
5. 社会への啓発活動の強化・行政との連携
6. 医療政策への位置づけ：保険診療への組み込み
特定検診における保健指導と受診勧告のあり方